

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
11時17分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00519	後期高齢者医療広域連合負担金事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)							
予算事業	10393	01	03	01	16	01	01	01	後期高齢者医療広域連合負担金事業(後期高齢者医療費)
所属長	森田 明子			担当者(内線)			三輪(2285)		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	大阪府後期高齢者医療広域連合		
目標	後期高齢者医療広域連合への負担金の支払		
結果	後期高齢者医療広域連合の円滑な運営		
事業概要	後期高齢者医療の保険者である、大阪府後期高齢者医療広域連合に対し、医療給付に係る市負担金及び広域連合運営に係る市負担金の支払を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	大阪府後期高齢者医療広域連合
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,994,659	2,971,162	3,186,543	3,185,142	3,232,324
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.02	0.02	1.00
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	82	79	162	162	7,945
総事業費(A+B)	2,994,741	2,971,241	3,186,705	3,185,304	3,240,269
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,994,741	2,971,241	3,186,705	3,185,304	3,240,269
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,994,741	2,971,241	3,186,705	3,185,304	3,240,269
財源計(G+D)	2,994,741	2,971,241	3,186,705	3,185,304	3,240,269

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00519

2頁
平成30年 6月 6日
17時20分58秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	後期高齢者医療広域連合への負担金の支払	目標	遅滞なく負担金を支払う
成果内容	後期高齢者医療広域連合の円滑な運営	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 事業費は増加しているが後期高齢者数が増加しているためやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 事業費は増加しているが、負担を法律で定められているため継続とする。 後期高齢者医療制度の医療費の適正化、後期高齢者医療広域連合の運営の円滑化に向け、関係市町村連絡会議を通じて要望していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	後期高齢者医療広域連合負担金事業	事業区分	その他
事務事業番号	00519				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組んでいない。(1点)	1点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の医療の確保に関する法律で後期高齢者医療制度は都道府県単位で、すべての市区町村が参加する後期高齢者医療広域連合を保険者としている。 医療給付費にかかる負担については、公費を約5割とし、そのうち1/6を市町村が負担することが定められている。 後期高齢者医療制度の被保険者が増加しているため、負担金も増加し続けている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に係る特記事項)

<p>後期高齢者医療保険制度については、社会保障制度改革国民会議において見直しを含めた議論が行われてきたが、平成25年8月6日付の報告書において現行制度を基本とし、必要な改善を行うことが適当との方向性が示された。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月21日
16時21分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00521	国保連合会関係事務事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11065	02	01	01	01	03	01	01	国保連合会関係事務事業（一般管理費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	三輪（2285）				
根拠法令等	国民健康保険法、大阪府国民健康保険団体連合会規約								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	委託単価の変更								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	(1) 第三者の行為（交通事故）により発生した保険給付 (2) 共同処理事業		
目標	(1) (2) 保険者共通事務について、一元処理をする		
結果	(1) 保険の給付対象でない第三者の行為により発生した給付に対し、適正に対処することにより、国民健康保険事業の健全な運営を図る。(2) 一元的に共同処理を行うことにより、経費の節減・事務の効率化を図る。		
事業概要	<p>(1) 第三者の行為が原因の保険給付（交通事故）で、加害者が加入する損害保険会社等に損害賠償金の求償事務を国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という。）に委託する。国保連合会は、必要な調査を行い、保険会社等から損害賠償金を収納し、市に送金をする。事務取扱手数料として、損害賠償金の5.1%に相当する額に消費税を加算した額を国保連合会に支払う。</p> <p>(2) 各保険者で共通の事務（レセプトデータの管理等）について、国保連合会で一元的に共同処理を行う。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	第三者行為求償事務 他
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	14,640	14,496	14,640	13,044	31,058
人件費職員数(人)	0.17	0.17	0.17	0.17	0.18
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,315	1,230	1,324	1,324	1,390
総事業費(A+B)	15,955	15,726	15,964	14,368	32,448
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	15,955	15,726	15,964	14,368	32,448
地方債	0	0	0	0	0
その他	15,955	15,726	15,964	14,368	32,448
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	15,955	15,726	15,964	14,368	32,448

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00521

2頁
平成30年 5月21日
16時21分15秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.20	0.20	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	レセプトデータ 事務処理依頼件数	件	目標値	1,450,000.00	1,471,200.00	1,413,700.00
			実績値	1,406,405.00	1,335,202.00	
			達成度(%)	97.00	90.80	
目標値の積算方法	前年度実績等により推計	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.01	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 保険の給付対象でない第三者の行為(交通事故)により発生した給付に対する損害賠償金の収納 一元的な共同処理による経費の節減・事務の効率化	達成状況 達成している (平成29年度第三者納付金決算見込額 約3,278万円)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 保険者の各種事務を共同化し、効率的な運用を行えているため)</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度から共同電算処理の引上げ及び国民健康保険制度改正に伴う市町村間の情報連携が必要となるため、国保情報集約業務について委託する必要があると見込みであるが、委託料が増加する見込みであるため、委託先の変更は困難なため継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	国保連合会関係事務事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00521				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	85	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00521
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険団体連合会で共同事業を行うことにより、保険者事務の効率的運用が図られている。</p> <p>平成30年度より手数料及び委託料が上げられたこと、国民健康保険制度改正に伴い国保情報集約システムの委託業務が発生することにより事業費が増加している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
11時07分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00522	レセプト点検事務事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11066	02	01	01	01	03	02	01	レセプト点検事務事業（一般管理費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）市川（2292）					
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成25年度						
改正内容	平成25年度から大阪府国民健康保険団体連合会に委託が可能となり、医科、歯科、柔道整復のレセプトの全件の点検が可能となった。								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	医療機関からのレセプト請求		
目標	レセプトの内容を点検し、医療費請求の誤りを修正する。		
結果	医療費の適正化		
事業概要	医療機関からのレセプト請求に際して、大阪府国民健康保険団体連合会の審査を経た後、保険者としての点検を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	レセプト点検事務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,430	5,238	5,430	4,975	7,276
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	774	724	779	779	772
総事業費(A+B)	6,204	5,962	6,209	5,754	8,048
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,204	5,962	6,209	5,754	8,048
地方債	0	0	0	0	0
その他	6,204	5,962	6,209	5,754	8,048
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	6,204	5,962	6,209	5,754	8,048

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00522

2頁
平成30年 6月 6日
11時07分03秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に伴う予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.08	0.08	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	被保険者レセプト点検件数	件	目標値	1,372,320.00	1,471,200.00	1,472,500.00
			実績値	1,406,405.00	1,334,827.00	
			達成度(%)	102.50	90.70	
目標値の積算方法	実績に伴う予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 レセプト点検による医療費の適正化	達成状況 従来は、全体の約2割しか点検ができない状況であったが、平成25年度より全件点検を実施し、医療費の適正化に取り組んでいる。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(委託することによって事業費が抑えられているため)</p> <p>【今後の方向性】 引き続き、レセプトの全件点検を実施することにより、医療費適正化に取り組むために継続する。今後も大阪府国民健康保険団体連合会に対して、より精度の高い効率的な事業実施を要望する。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	レセプト点検事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00522				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。	内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	14	③適正な受益者負担を求めていますか。	内部管理	点	
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))			

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00522
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	医療機関への支払いのもととなるレセプト点検の強化は、医療費の適正化にとって必要不可欠な業務である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
13時55分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00523	電算管理事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11067	02	01	01	01	04	01	01	電算管理事業（一般管理費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	三輪（2285）				
根拠法令等	国民健康保険法、国民健康保険法施行令、吹田市国民健康保険条例								
事業開始年度	昭和57年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	国民健康保険制度広域化、国民健康保険料の賦課限度額の引上げ、軽減判定所得の引上げ								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	国民健康保険システム及び月次報告書作成システム		
目標	法改正にも対応し、正確で安定的なシステム運用の継続を目指す。		
結果	システムの安定的な稼働を維持することにより、正確な事務サービスを提供できる。		
事業概要	法改正等に対応するため、国民健康保険システムの改修を行い、システムを正確に維持する。 また、国の仕様変更等に対応するため、月次報告書作成システムを最新に維持し、報告書の正確性を確保する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) 日立製作所関西支社
		委託先②	(株) フューチャーイン関西支店
		委託先③	
		主な委託内容	システム改修、月報システム修正・保守
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	52,194	15,520	41,470	43,006	11,265
人件費職員数(人)	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,161	1,086	1,169	1,169	1,158
総事業費(A+B)	53,355	16,606	42,639	44,175	12,423
特定財源(C)	0	5,934	22,024	30,024	0
国	0	5,934	22,024	30,024	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	53,355	10,672	20,615	14,151	12,423
地方債	0	0	0	0	0
その他	53,355	10,672	20,615	14,151	12,423
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	53,355	16,606	42,639	44,175	12,423

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00523

2頁
平成30年 5月25日
13時55分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	システムベンダーへの委託料の支払	目標	遅滞なく委託料を支払う
成果内容	国民健康保険システム改修 月次報告書作成システムの修正及び保守	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 制度改正等に対応しているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費は妥当であるため、継続すべきである。また、法改正等によりシステム改修が不可欠であれば、拡充及び事業費の増額が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	電算管理事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00523				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	95	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00523
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>ホストコンピュータからパッケージシステムに移行したことにより事業費は縮小傾向にあったが、平成30年度制度改正について改修が発生したため事業費が増大した。しかし国庫補助があるため市の負担は増加しなかった。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>国民健康保険事業の運営に必要なシステムであり、正確で安定的に稼働させる必要がある。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 8月 7日
11時04分13秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00524	国保連合会負担金事業（国民健康保険特別会計）								
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり								
節	05	生活を支える社会保障の充実								
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）								
予算事業	11068	02	01	01	02	01	01	01	01	国保連合会負担金事業（連合会負担金）
所属長	森田 明子				担当者（内線）三輪（2285）					
根拠法令等	国民健康保険法、大阪府国民健康保険団体連合会規約									
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成30年度							
改正内容	保健事業に係る会員負担金の追加									
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）									

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	大阪府国民健康保険団体連合会の会員である国民健康保険保険者の事業運営		
目標	審査支払業務、共同処理業務等を行う国民健康保険団体連合会の安定的な事業運営を図る		
結果	国民健康保険団体連合会の会員である保険者の円滑な国民健康保険事業運営に資する		
事業概要	国民健康保険法に基づき会員となる保険者が、大阪府国民健康保険団体連合会規約に基づく負担金の納付を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	大阪府国民健康保険団体連合会
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	5,641	5,640	5,516	5,515	6,525
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	6,990	7,717
人件費総額(B)	774	724	779	699	772
総事業費(A+B)	6,415	6,364	6,295	6,214	7,297
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	6,415	6,364	6,295	6,294	7,297
地方債	0	0	0	0	0
その他	6,415	6,364	6,295	6,294	7,297
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	6,415	6,364	6,295	6,294	7,297

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00524

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.08	0.08	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
国民健康保険団体の円滑な運営	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切である。(理由: 国保連合会が安定した運営ができているため)</p> <p>【今後の方向性】 国民健康保険事業を合理的に進めていく上には必要な業務であり継続とする。 国民健康保険団体連合会には引き続き事業運営の合理化による委託単価の引下げとサービス向上を要望していく。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	国保連合会負担金事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00524				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組をしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00524
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険団体連合会は、国民健康保険法に基づき、会員である保険者が共同してその目的を達成するため必要な事業を行うことを目的とする組織で、大阪府、大阪府後期高齢者医療広域連合、府内43市町村及び府内国民健康保険組合全てが会員となっている。</p> <p>近年は被保険者の減少により負担金額が減少傾向にあったが、平成30年度に保健事業負担金が創設され負担金額が増加した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
16時47分14秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00525	近畿都市国保協議会事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11069	02	01	01	03	01	01	01	近畿都市国保協議会事業（協議会負担金）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	三輪（2285）				
根拠法令等	近畿都市国民健康保険者協議会規約								
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	近畿都市国民健康保険者協議会		
目標	近畿ブロックの国民健康保険者共同で、国への要望を行う		
結果	近畿ブロックから国への要望等として扱われるため、効果的である		
事業概要	近畿2府4県の各市の国民健康保険事業に関する国への要望を取りまとめるため、年1回の総会と年数回の幹事会を開催している。各市はその運営経費を賄うための負担金を支払っている。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
		交付先①	近畿都市国民健康保険者協議会
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3	3	3	3	3
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	81	76	81	81	81
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	81	76	81	81	81
地方債	0	0	0	0	0
その他	81	76	81	81	81
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	81	76	81	81	81

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00525

2頁
平成30年 5月25日
16時47分14秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	近畿都市国民健康保険者協議会負担金の支払い	目標	年1回の総会と幹事会の円滑な運営
成果内容	近畿ブロックの国民健康保険者共同で、国への要望を行う	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切である。(理由：協議会の運営ができていたため)</p> <p>【今後の方向性】 近畿2府4県の各市が加入し必要な要望を行っていることから、事業は継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	近畿都市国保協議会事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00525				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている、又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00525
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近畿2府4県の各市の国民健康保険事業に関する、国への要望を行っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
15時56分29秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00526	資格賦課事務事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11072	02	01	02	01	03	01	01	資格賦課事務事業（賦課徴収費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	成田（2293）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	平成24年度	直近の改正	平成28年度						
改正内容	政令軽減の改正								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者及び納付義務者		
目標	国民健康保険業務の資格・賦課事業に係る健全な運営を目指す。		
結果	国民皆保険制度に基づき、市民が安心して医療を受けられるとともに公平な費用負担を求める。		
事業概要	国民健康保険に係る資格及び国民健康保険料賦課業務		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	共同印刷西日本（株）
		委託先②	（株）NKサポート
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	①当初・月例通知発送 ②高齢証封入・封緘
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	9,133	8,517	7,628	6,828	12,571
人件費職員数(人)	6.10	6.10	6.10	6.10	6.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	47,178	44,134	47,501	47,501	47,074
総事業費(A+B)	56,311	52,651	55,129	54,329	59,645
特定財源(C)	9	7	7	5	11
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	9	7	7	5	11
市負担(D)	56,302	52,644	55,122	54,324	59,634
地方債	0	0	0	0	0
その他	56,302	52,644	55,122	54,324	59,634
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	56,311	52,651	55,129	54,329	59,645

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00526

2頁
平成30年 6月 7日
15時56分29秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	国民健康保険法に基づく資格・賦課事業の健全な運営を目指す。	目標	法律、国民皆保険制度に基づき、市民が安心して医療を受けられる環境を確保すると共に、公平な費用負担を求める。
成果内容	簡易申告書や退職者医療制度職権適用、社会保険加入状況調査等による資格適正化を行っている。	達成状況	概ね達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 資格・賦課事業の適性な運営がなされており、事業費も適正であるため。)</p> <p>【今後の方向性】 国民健康保険の加入、脱退、保険料の賦課・通知に係る事務事業であり必要不可欠な根幹をなす事業である。事業費も適正であるため、継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	資格賦課事務事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00526				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00526
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析			

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

この業務は、国民健康保険の基本となる加入・脱退、保険料の賦課・通知に係る必要不可欠な事務事業である。
 現在、保険料の決定・更正通知については一括外部委託しており、誤封入の防止、時間外勤務の抑制、事務効率の向上等を図っている。
 なお、一括外部委託業者は、公募型プロポザール方式において選定を行った。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
15時58分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00527	収納事務事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11073	02	01	02	01	04	01	01	収納事務事業（賦課徴収費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）			大重（2296）		
根拠法令等	国民健康保険法、吹田市国民健康保険条例、地方自治法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	吹田市国民健康保険条例第8条の2保険料の賦課額等、第21条滞納処分の着手								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	国民健康保険料の正確な収納管理及び適切な滞納管理を行う。		
結果	国民健康保険事業の安定運営		
事業概要	保険料収納管理（保険料消込、口座振替、コンビニ収納等）及び保険料の徴収業務（督促状・催告書送付、納付相談、滞納処分）		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	共同印刷西日本株式会社
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	督促状及び催告書の印字・印刷及び封入
		交付先①	
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	18,969	17,300	18,966	16,713	18,849
人件費職員数(人)	3.45	3.46	3.50	3.45	3.50
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	26,683	25,034	27,255	26,866	27,010
総事業費(A+B)	45,652	42,334	46,221	43,579	45,859
特定財源(C)	1,422	1,453	1,422	12	13
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,422	1,453	1,422	12	13
市負担(D)	44,230	40,881	46,204	43,567	45,846
地方債	0	0	0	0	0
その他	44,230	40,881	46,204	43,567	45,846
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	45,652	42,334	47,626	43,579	45,859

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00527

2頁
平成30年 6月 7日
15時58分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	滞納整理班手書き催告書発送件数	通	目標値	18,000.00	11,000.00	11,000.00
			実績値	10,780.00	8,168.00	
			達成度(%)	59.90	74.30	
目標値の積算方法	前年度発送実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.93	5.34	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	保険料分納誓約件数	件	目標値	10,416.00	10,416.00	10,416.00
			実績値	10,535.00	9,970.00	
			達成度(%)	101.10	95.70	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4.02	4.37	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険料現年度収納率	%	目標値	90.00	90.00	90.00
			実績値	88.61	89.60	
			達成度(%)	98.50	99.60	
目標値の積算方法	国民健康保険料滞納整理方針による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	477.76	486.37	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険料滞納繰越分収納率	%	目標値	25.00	17.00	17.00
			実績値	14.55	12.17	
			達成度(%)	58.20	71.60	
目標値の積算方法	国民健康保険料滞納整理方針による	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,909.55	3,580.85	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:赤字解消計画の中で、保険料収納率向上が大きな柱としていたため。)</p> <p>【指標数値の評価】 収納率向上の取組みについては、休日・夜間相談窓口の開設や休日訪問催告、夜間電話催告の取組みや、収納嘱託員による訪問・電話・文書催告業務及び滞納整理専任班による分納不履行催告・社会保険調査による資格適正化・滞納処分の強化に努めてきた。平成29年度からは累積滞納者の分納誓約を現年度先取りとすることで現年度の収納率向上を図っている。</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度は従来の取組に加えて、税務部債権管理課に徴収困難案件を移管することにより滞納繰越収納率の向上を図るとともに滞納者の情報を共有化することで効率的に滞納整理を行っていく。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	収納事務事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00527				

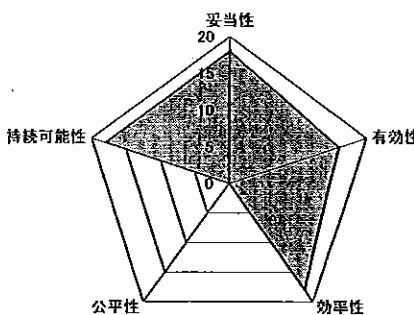
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	87	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00527
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、保険料の収納管理及び滞納整理により保険料収入を確保することで国民健康保険事業の安定的運営を目指すものであり、収納管理について、コンビニ収納やキャッシュカードによる口座振替受付など納付環境の整備を行った。また、口座振替データを媒体から伝送方式とすることや、督促状・催告書を印刷から封入まで一括で外部委託することで個人情報の保護や省力化を行ってきた。</p> <p>滞納整理においては徴収担当者の増員などにより一定の成果が上がっているものの、更なる収納率向上が課題となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
10時26分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00528	嘱託員事務事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11074	02	01	02	01	04	02	01	嘱託員事務事業（賦課徴収費）
所属長	森田 明子		担当者（内線）大重（2296）						
根拠法令等	国民健康保険室国民健康保険料等収納嘱託員勤務時間等運用基準、吹田市非常勤職員の報酬に関する規定								
事業開始年度	不明	直近の改正		平成24年度					
改正内容	勤務日・勤務時間の変更。能率報酬・口座振替推進報酬規程の削除。								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険、後期高齢者医療保険の被保険者		
目標	国民健康保険料等の未納者に対する電話・訪問催告を行うとともに口座振替の推進などにより保険料収入の確保を図る。		
結果	保険料の早期確保、収納率の向上。		
事業概要	1 保険料の徴収に関すること 2 被保険者の所在の調査に関すること 3 簡易申告等の指導に関すること 4 その他国民健康保険等の普及促進に関することで国民健康保険室長の指示する事項		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,557	29,925	30,480	29,938	30,370
人件費職員数(人)	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	8,508	7,959	8,566	8,566	8,489
総事業費(A+B)	39,065	37,884	39,046	38,504	38,859
特定財源(C)	125	100	100	75	75
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	125	100	100	75	75
市負担(D)	38,940	37,784	38,946	38,429	38,784
地方債	0	0	0	0	0
その他	38,940	37,784	38,946	38,429	38,784
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	39,065	37,884	39,046	38,504	38,859

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00528

2頁
平成30年 5月30日
10時26分54秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険料滞納繰越世帯訪問	世帯	目標値	7,377.00	6,800.00	6,000.00
			実績値	6,838.00	6,026.00	
			達成度(%)	92.70	88.60	
目標値の積算方法	前年度実績	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.54	6.39	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険料の訪問徴収額	円	目標値	14,820,940.00	15,300,000.00	14,000,000.00
			実績値	15,327,628.00	14,043,758.00	
			達成度(%)	103.40	91.80	
目標値の積算方法	前年度の訪問徴収額	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:嘱託員の催告業務は、収納率向上に貢献しているため。)</p> <p>【指標数値の評価】 訪問世帯数や徴収額は被保険者の減少もあり前年と比較すると少し減ってはいるが、訪問や電話での催告により滞納者への接触を積極的に図ることで生活実態の聞き取りや居所不明者の掘り起しなど収納率向上に寄与しており、事業成果は妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	嘱託員事務事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00528				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	12	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	65	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00528
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果	<p>The radar chart displays five dimensions: 妥当性 (top, 20), 有効性 (right, 15), 効率性 (bottom-right, 10), 公平性 (bottom-left, 5), and 持続可能性 (left, 5). The chart has concentric lines at intervals of 5, from 0 to 20.</p>		
(3)現状分析	<p>平成24年度からコンビニエンスストアでの保険料収納が開始されたことに伴い収納嘱託員は定期訪問徴収業務から、電話・訪問・文書などの催告業務へと移行した。滞納者への接触を積極的に図ることで生活実態の聞き取りや居所不明者の掘り起しなど、これらの催告業務は収納率向上に寄与している。特に、職員が窓口や電話での相談業務と内部事務に追われている現状においては、収納嘱託員の催告業務は保険料の収納率向上に大きく貢献している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月21日
16時25分31秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00530	国保運営協議会事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11076	02	01	03
所属長	森田 明子	01	01	01
根拠法令等	国民健康保険法、同施行令、吹田市国民健康保険条例、同施行規則			
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	任期の変更			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	吹田市国民健康保険運営協議会		
目標	市長の諮問機関として諮問を受け、国民健康保険事業の運営に関する重要事項の審議を行い、意見を答申し、市長の判断材料とすることで事業の健全な運営を図る		
結果	国民健康保険事業の円滑な事業運営が図ることができる		
事業概要	国民健康保険事業の運営に関する審議をするため、市町村に国民健康保険運営協議会を置くことが国民健康保険法で義務付けられている。また、同法施行令において、国民健康保険運営協議会は、被保険者を代表する委員、保険医又は保険業剖師を代表する委員及び公益を代表する委員各同数をもって組織することと定められている。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	579	407	605	286	528
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
総事業費(A+B)	2,126	1,854	2,163	1,844	2,072
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,126	1,854	2,163	1,844	2,072
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,126	1,854	2,163	1,844	2,072
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	2,126	1,854	2,163	1,844	2,072

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00530

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	運営協議会の開催回数	回	目標値	5.00	5.00	4.00
			実績値	4.00	3.00	
			達成度(%)	80.00	60.00	
目標値の積算方法	前年度の開催実績を参考にした予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	463.50	614.67	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	運営協議会委員の出席者数(延)	人	目標値	70.00	70.00	56.00
			実績値	49.00	35.00	
			達成度(%)	70.00	50.00	
目標値の積算方法	開催回数の目標値×委員定数(14人)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	37.84	52.69	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
吹田市における国民健康保険事業の運営に関する審議	達成状況 達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は、適切である。(理由：市の国民健康保険事業運営のための審議がなされているため)</p> <p>【今後の方向性】 設置は法で義務付けられており、委員定数についても府内各市と比較して適当と考え、継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	国保運営協議会事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00530				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。 内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。 内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	85	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00530
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険運営協議会は国民健康保険法第11条第2項で市町村の国民健康保険事業の運営に関する審議するため、市町村に設置することが義務付けられている。 委員定数については国民健康保険法施行令第3条第3項に、「被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表する委員及び公益を代表する委員各同数をもつて組織する。」とあり、本市では国民健康保険条例において各分野の委員4名づつ及び国の通達により被用者保険等保険者代表委員2名を加え、総数を14名としている。 平成30年度より国民健康保険広域化により府と共同保険者となることにより、府が財政の責任主体になるため、市町村の運営協議会のあり方が変わる可能性がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時26分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00531	一般被保険者療養給付事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11077	02	02	01 01 01 01 01 01 01 一般被保険者療養給付事業（一般被保険者療養給付費）
所属長	森田 明子	担当者（内線）市川（2292）		
根拠法令等	国民健康保険法			
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成20年度	
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）		
目標	被保険者の医療費を現物給付することによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	診療を受ける際に医療機関等の窓口で被保険者証を提示することにより、一部負担金を支払うだけで療養の給付が受けられる		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	20,536,370	20,266,561	20,501,069	20,009,332	20,256,700
人件費職員数(人)	0.35	0.39	0.35	0.35	0.35
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	2,707	2,822	2,726	2,726	2,701
総事業費(A+B)	20,539,077	20,269,383	20,503,795	20,012,058	20,259,401
特定財源(C)	18,562,143	18,464,567	18,618,005	18,298,079	20,256,700
国	3,961,844	4,323,770	3,908,125	4,308,219	1
府	1,534,102	893,685	1,258,095	881,711	20,230,697
その他	13,066,197	13,247,112	13,451,785	13,108,149	26,002
市負担(D)	1,976,934	1,804,816	1,885,790	1,713,979	2,701
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,976,934	1,804,816	1,885,790	1,713,979	2,701
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	20,539,077	20,269,383	20,503,795	20,012,058	20,259,401

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00531

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険一般被保険者数	人	目標値	78,400.00	75,600.00	71,100.00
			実績値	76,661.00	72,808.00	
			達成度(%)	97.80	96.30	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	264.40	274.86	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる。
	達成状況
	達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：法定給付であるため事業費増はやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者療養給付事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00531				

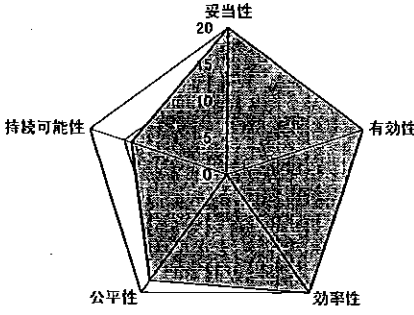
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00531
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療の高度化に伴い医療給付費の増加傾向が続いているため、医療費適正化、保健事業の充実の方策を講じる必要がある。現在はレセプト点検の強化や特定健康診査の受診率向上等に取り組んでいるが、平成30年度より新たな保健事業として人間ドッグ受診への補助も開始し、さらなる医療費の適正化に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時32分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00532	退職被保険者等療養給付事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11078	02	02	01	02	01	01	01	退職被保険者等療養給付事業（退職被保険者等療養給付費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成20年度						
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	被保険者の医療費を現物給付することによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	診療を受ける際に医療機関等の窓口で被保険者証を提示することにより、一部負担金を支払うだけで療養の給付が受けられる。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	841,164	522,877	303,021	260,249	171,254
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
総事業費(A+B)	842,711	524,324	304,579	261,807	172,798
特定財源(C)	841,164	522,877	303,021	260,249	171,254
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	171,250
その他	841,164	522,877	303,021	260,249	4
市負担(D)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	842,711	524,324	304,579	261,807	172,798

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00532

2頁
平成30年 6月 7日
10時48分26秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険退職被保険者数	人	目標値	2,350.00	820.00	450.00
			実績値	1,737.00	841.00	
			達成度(%)	73.90	102.60	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	301.86	311.30	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 法定給付であるため)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務がある。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	退職被保険者等療養給付事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00532				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00532
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退職被保険者等医療給付費については、退職者医療制度によって、該当者の保険給付費から納付保険料を差し引いた額が被用者保険から社会保険診療報酬基金を通じて交付されてきた。平成20年の医療制度改革において、前期高齢者調整制度が導入され、退職者医療制度は経過的な措置として縮小されたが、なお団塊の世代が対象者となっており、制度の適正な運用は国民健康保険財政に重要な影響を与えるものであり、退職者振替等の事務の適正化をさらに徹底することが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時27分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00533	一般被保険者療養費支払事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11079	02	02	01	03	01	01	01	一般被保険者療養費支払事業（一般被保険者療養費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正		平成20年度					
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入								
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）		
目標	被保険者の医療費を償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	被保険者に対し療養費等の一部負担金相当額を除いた額を支給する		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	医療費等の審査支払事務
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
交付先②			
交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	456,519	445,182	447,015	396,112	399,353
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
総事業費(A+B)	458,066	446,629	448,573	397,670	400,897
特定財源(C)	406,519	409,182	404,015	364,312	399,353
国	121,956	103,163	101,291	92,728	0
府	32,556	40,666	31,891	36,200	399,353
その他	252,007	265,353	270,833	235,384	0
市負担(D)	51,547	37,447	44,558	33,358	1,544
地方債	0	0	0	0	0
その他	51,547	37,447	44,558	33,358	1,544
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	458,066	446,629	448,573	397,670	400,897

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00533

2頁
平成30年 6月 7日
10時50分41秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険一般被保険者数	人	目標値	78,400.00	75,600.00	71,100.00
			実績値	76,661.00	72,808.00	
			達成度(%)	97.80	96.30	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.83	5.46	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:法定給付であるため事業費増はやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者療養費支払事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00533				

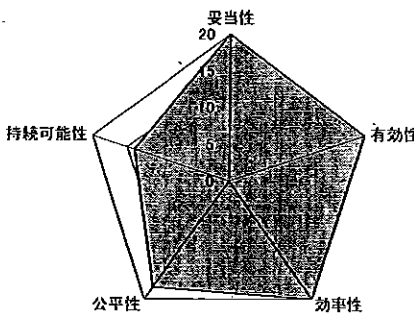
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00533
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>療養費のうち柔道整復・鍼灸については大阪府内での数値が全国に比較して高いため、適正化への取組み強化が求められている</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時33分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00534	退職被保険者等療養費支払事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11080	02 02 01 04 01 01 01	退職被保険者等療養費支払事業（退職被保険者等療養費）	
所属長	森田 明子	担当者（内線）市川（2292）		
根拠法令等	国民健康保険法			
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成20年度	
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入			
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	被保険者の医療費を償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	被保険者に対し療養費等の一部負担金相当額を除いた額を支給する		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	17,992	9,790	5,165	4,920	3,159
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
総事業費(A+B)	19,539	11,237	6,723	6,478	4,703
特定財源(C)	17,992	9,790	5,165	4,920	3,159
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	3,159
その他	17,992	9,790	5,165	4,920	0
市負担(D)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	19,539	11,237	6,723	6,478	4,703

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00534

2頁
平成30年 6月 7日
10時51分45秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険退職被保険者数	人	目標値	2,350.00	820.00	0.00
			実績値	1,737.00	0.00	
			達成度(%)	73.90	0.00	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.47	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:法定給付であるため)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	退職被保険者等療養費支払事業(国民健康保険特別会)	事業区分	その他
事務事業番号	00534				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00534
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退職被保険者等医療給付費については、退職者医療制度によって、該当者の保険給付費から納付保険料を差し引いた額が被用者保険から社会保険診療報酬基金を通じて交付されてきた。平成20年の医療制度改革において、前期高齢者調整制度が導入され、退職者医療制度は経過的な措置として縮小されたが、なお団塊の世代が対象者となっており、制度の適正な運用は国民健康保険財政に重要な影響を与えるものであり、退職者振替等の事務の適正化をさらに徹底することが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月21日
16時34分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00535	審査支払手数料支払事業（国民健康保険特別会計）			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	05	生活を支える社会保障の充実			
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）			
予算事業	11081	02	02	01 05 01 01 01	審査支払手数料支払事業（審査支払手数料）
所属長	森田 明子		担当者（内線）三輪（2285）		
根拠法令等	国民健康保険法、大阪府国民健康保険団体連合会診療報酬審査支払規則				
事業開始年度	昭和36年度	直近の改正	平成30年度		
改正内容	審査支払手数料の改定				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	大阪府国民健康保険団体連合会		
目標	診療報酬明細書の審査支払件数に応じた手数料の支払		
結果	診療報酬明細書の1次点検による医療費の適正化		
事業概要	医療機関等より請求のある診療報酬明細書に対する審査支払事務を委託している国民健康保険団体連合会に対し、件数に応じた手数料の支払を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	52,381	50,815	50,637	44,693	53,762
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	387	362	390	390	386
総事業費(A+B)	52,768	51,177	51,027	45,083	54,148
特定財源(C)	52,381	50,815	50,637	44,693	53,762
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	53,762
その他	52,381	50,815	50,637	44,693	0
市負担(D)	387	362	390	390	386
地方債	0	0	0	0	0
その他	387	362	390	390	386
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	52,768	51,177	51,027	45,083	54,148

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00535

2頁
平成30年 6月 7日
10時53分45秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	診療報酬明細書の審査支払手数料の支払	目標	審査支払件数に応じて遅滞なく手数料を支払う
成果内容	診療報酬明細書の1次点検による医療費の適正化	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:適正にレセプトの審査及び医療機関への支払業務が行われているため)</p> <p>【今後の方向性】 今後も手数料が引上げられる見込みだが、現行で国民健康保険団体連合会に委託している業務については委託先の変更は困難であり、現行どおり事業を継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	審査支払手数料支払事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00535				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	12	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	72	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00535
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>近年はレセプト件数の減少により手数料が減少傾向にあったが、平成30年度より段階的に手数料が直上げされ、今後手数料が増加する見込みである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時28分37秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00536	一般被保険者高額療養費給付事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11082	02	02	02	01	01	01	01	一般被保険者高額療養費給付事業（一般被保険者高額療養費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成29年度						
改正内容	制度の持続可能性を高めるため、70歳以上の高額療養費の算定基準額を見直すもの。平成29年8月と平成30年8月の2段階に分けて施行。								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）		
目標	被保険者の自己負担限度額を超えた医療費を現物給付又は償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	被保険者が医療機関で支払った一部負担金が高額療養費の支給基準額を超えた額を高額療養費として支給		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,879,319	2,770,434	2,945,981	2,791,083	2,974,327
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
総事業費(A+B)	2,883,186	2,774,052	2,949,875	2,794,977	2,978,186
特定財源(C)	2,599,319	2,556,434	2,673,981	2,568,083	2,974,327
国	651,552	543,930	546,219	595,376	0
府	205,552	253,339	210,219	255,097	2,974,327
その他	1,742,215	1,759,165	1,917,543	1,717,610	0
市負担(D)	283,867	217,618	275,894	226,894	3,859
地方債	0	0	0	0	0
その他	283,867	217,618	275,894	226,894	3,859
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	2,883,186	2,774,052	2,949,875	2,794,977	2,978,186

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00536

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険一般被保険者	人	目標値	78,400.00	75,600.00	71,100.00
			実績値	76,661.00	72,808.00	
			達成度(%)	97.80	96.30	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	36.19	38.39	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 法定給付であるため事業費増はやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者高額療養費給付事業(国民健康保険特別)	事業区分	その他
事務事業番号	00536				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00536
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療の高度化に伴い医療給付費の増加傾向が続いているため、医療費適正化、保健事業の充実の方策を講じる必要がある。現在はレセプト点検の強化や特定健康診査の受診率向上等に取り組んでいるが、平成30年度より新たな保健事業として人間ドッグ受診への補助も開始し、さらなる医療費の適正化に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時35分21秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00537	退職被保険者等高額療養費給付事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11083	02	02	02
02	01	01	01	01
所属長	森田 明子	退職被保険者等高額療養費給付事業（退職被保険者等高額療養費） 担当者（内線）市川（2292）		
根拠法令等	国民健康保険法			
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成25年度	
改正内容	制度の持続可能性を高めるため、高額療養費の算定基準額を見直した。平成29年8月と平成30年8月の2段階で施行。			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	被保険者の自己負担限度額を超えた医療費を現物給付又は償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる		
事業概要	被保険者が医療機関で支払った一部負担金が高額療養費の支給基準額を超えた額を高額療養費として支給		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	125,683	88,804	58,898	49,171	34,486
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
総事業費(A+B)	129,550	92,422	62,792	53,065	38,345
特定財源(C)	125,683	88,804	58,898	49,171	34,486
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	34,486
その他	125,683	88,804	58,898	49,171	0
市負担(D)	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	129,550	92,422	62,792	53,065	38,345

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00537

2頁
平成30年 6月 7日
10時56分32秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険退職者被保険者数	人	目標値	2,350.00	820.00	450.00
			実績値	1,737.00	841.00	
			達成度(%)	73.90	102.60	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	53.21	63.10	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者が安心して必要な療養の給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 法定給付であるため)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	退職被保険者等高額療養費給付事業(国民健康保険特)	事業区分	その他
事務事業番号	00537				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00537
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退職被保険者等医療給付費については、退職者医療制度によって、該当者の保険給付費から納付保険料を差し引いた額が被用者保険から社会保険診療報酬基金を通じて交付されてきた。平成20年の医療制度改革において、前期高齢者調整制度が導入され、退職者医療制度は経過的な措置として縮小されたが、なお団塊の世代が対象者となっており、制度の適正な運用は国民健康保険財政に重要な影響を与えるものであり、退職者振替等の事務の適正化をさらに徹底することが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時30分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00538	一般被保険者高額介護合算療養費事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11084	02	02	02	03 01 01 01	一般被保険者高額介護合算療養費事業（一般被保険者高額介護合算
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）	
根拠法令等	国民健康保険法					
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし			
改正内容						
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）		
目標	医療費及び介護費による被保険者の過重な負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な医療を受けることができる		
事業概要	被保険者が1年間に支払った医療費及び介護費の自己負担額が支給基準額を超えた際に、超えた額を高額介護合算療養費として支給		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
		主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,700	982	1,700	1,375	1,700
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	1,778	1,055	1,778	1,453	1,778
特定財源(C)	1,700	982	1,700	1,375	1,700
国	544	229	300	326	0
府	119	88	119	124	1,700
その他	1,037	665	1,281	925	0
市負担(D)	78	73	78	78	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	73	78	78	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,778	1,055	1,778	1,453	1,778

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00538

2頁
平成30年 6月 7日
10時57分42秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険一般被保険者数	人	目標値	78,400.00	75,600.00	71,100.00
			実績値	76,661.00	72,808.00	
			達成度(%)	97.80	96.30	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.01	0.02	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して必要な医療を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由：法定給付であるため事業費増はやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	一般被保険者高額介護合算療養費事業(国民健康保険)	事業区分	その他
事務事業番号	00538				

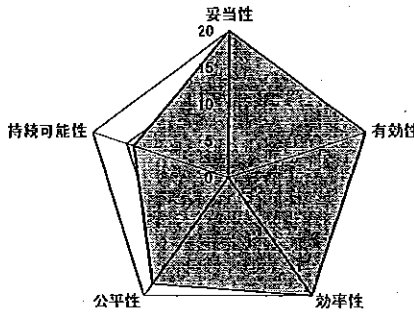
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保健室	事務事業番号	00538
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療の高度化に伴い医療給付費の増加傾向が続いているため、医療費適正化、保健事業の充実の方策を講じる必要がある。現在はしせつ点検の強化や特定健康診査の受診率向上等に取り組んでいるが、平成30年度より新たな保健事業として人間ドッグ受診への補助も開始し、さらなる医療費の適正化に努める。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時03分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00539	退職被保険者等高額介護合算療養費事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11085	02	02	02	04 01 01 01	退職被保険者等高額介護合算療養費事業（退職被保険者等高額介護
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）	
根拠法令等	国民健康保険法					
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし			
改正内容						
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）	
目標	医療費及び介護費による被保険者の過重な負担を軽減する	
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる	
事業概要	被保険者が1年間に支払った医療費及び介護費の自己負担額が支給基準額を超えた際に、超えた額を高額介護合算療養費として支給	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	100	0	100	60	100
人件費職員数(人)	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	0	78	78	78
総事業費(A+B)	178	0	178	138	178
特定財源(C)	100	0	100	60	100
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	100
その他	100	0	100	60	0
市負担(D)	78	0	78	78	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	0	78	78	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	178	0	178	138	178

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00539

2頁
平成30年 6月 7日
16時03分27秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険退職被保険者数	人	目標値	2,350.00	820.00	450.00
			実績値	1,737.00	841.00	
			達成度(%)	73.90	102.60	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.16	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して必要な医療を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:法定給付であるため)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	退職被保険者等高額介護合算療養費事業(国民健康保)	事業区分	その他
事務事業番号	00539				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00539
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退職被保険者等医療給付費については、退職者医療制度によって、該当者の保険給付費から納付保険料を差し引いた額が被用者保険から社会保険診療報酬基金を通じて交付されてきた。平成20年の医療制度改革において、前期高齢者調整制度が導入され、退職者医療制度は経過的な措置として縮小されたが、なお団塊の世代が対象者となっており、制度の適正な運用は国民健康保険財政に重要な影響を与えるものであり、退職者振替等の事務の適正化をさらに徹底することが必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時30分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00540	一般被保険者移送費支払事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11086	02	02	03	01 01 01 01	一般被保険者移送費支払事業（一般被保険者移送費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）	
根拠法令等	国民健康保険法					
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成20年度			
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）		
目標	医師等が認めた移送費を償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる		
事業概要	医師等が認めた移送費について保険給付を行う		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	500	167	500	57	500
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	578	240	578	135	578
特定財源(C)	500	167	500	57	500
国	160	30	80	10	0
府	35	0	35	0	500
その他	305	137	385	47	0
市負担(D)	78	73	78	78	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	73	78	78	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	578	240	578	135	578

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00540

2頁
平成30年 6月 7日
11時01分38秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険一般被保険者	人	目標値	78,400.00	75,600.00	71,100.00
			実績値	76,661.00	72,808.00	
			達成度(%)	97.80	96.30	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	被保険者が安心して必要な保険給付を受けることができる	達成状況	達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 法定給付であるため事業費増はやむを得ない)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者移送費支払事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00540				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		ー ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00540
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	移送費については、臓器移植にかかわる臓器等の搬送が対象となっており、一件あたりの執行額も多額になる傾向がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時37分17秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00541	退職被保険者等移送費支払事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11087	02	02	03	02	01	01	01	退職被保険者等移送費支払事業（退職被保険者等移送費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）市川（2292）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成20年度						
改正内容	70歳から74歳までの現役所得者以外の自己負担割合が1割から2割に引き上げ、乳幼児医療費を2割負担に軽減する対象が「3歳未満」から「義務教育就学前」までに拡大、75歳以上は後期高齢者医療制度に加入								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	医師等が認めた移送費を償還払いすることによって、被保険者の負担を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる		
事業概要	医師等が認めた移送費について保険給付を行う		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	50	0	50	0	50
人件費職員数(人)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	0	78	0	78
総事業費(A+B)	128	0	128	0	128
特定財源(C)	50	0	50	0	50
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	50
その他	50	0	50	0	0
市負担(D)	78	0	78	0	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	0	78	0	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	128	0	128	0	128

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00541

2頁
平成30年 6月 7日
11時03分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険退職被保険者数	人	目標値	2,350.00	820.00	450.00
			実績値	1,737.00	841.00	
			達成度(%)	73.90	102.60	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる
	達成状況
	達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:法定給付であるため)</p> <p>【今後の方向性】 本事業は国民健康保険法に基づく法定給付であるため、保険者である市は事業実施の義務があり継続とする。 現状分析を踏まえ、医療給付費の適正化に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	退職被保険者等移送費支払事業(国民健康保険特別会)	事業区分	その他
事務事業番号	00541				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
		③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00541
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	移送費については、臓器移植にかかわる臓器等の搬送が対象となっており、一件あたりの執行額も多額になる傾向がある。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時47分32秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00542	出産育児一時金支払事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11088	02	02	04	01 01 01 01	出産育児一時金支払事業（出産育児一時金）
所属長	森田 明子		担当者（内線）市川（2292）			
根拠法令等	国民健康保険法、健康保険法施行令、吹田市国民健康保険条例、吹田市国民健康保険条例施行規則					
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成26年度			
改正内容	出産育児一時金の額を39万円から40万4千円、産科補償制度加算額を3万から1万6千円に改定（平成27年1月1日以後の出産に適用）					
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	被保険者の出産費用の負担軽減を図る		
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる		
事業概要	出産の際に出産育児一時金を支給		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	出産育児一時金の審査支払事務
		交付先①	
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	151,276	109,799	151,276	89,956	126,063
人件費職員数(人)	0.13	0.20	0.13	0.13	0.13
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,006	1,447	1,013	1,013	1,004
総事業費(A+B)	152,282	111,246	152,289	90,969	127,067
特定財源(C)	50,476	38,080	50,476	30,014	126,063
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	126,063
その他	50,476	38,080	50,476	30,014	0
市負担(D)	101,806	73,166	101,813	60,955	1,004
地方債	0	0	0	0	0
その他	101,806	73,166	101,813	60,955	1,004
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	152,282	111,246	152,289	90,969	127,067

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00542

2頁
平成30年 6月 4日
11時47分32秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.42	1.24	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して必要な給付を受けることができる。	達成状況 達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 出産費としての負担軽減に寄与できているため)</p> <p>【今後の方向性】 大阪府国民健康保険運営方針にも定められた給付費であり継続とする。給付額は健康保険法施行令に準じた額を吹田市国民健康保険条例及び条例施行規則で規定し支給している。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	出産育児一時金支払事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00542				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00542
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>出産育児一時金は、国民健康保険法第58条の規定により、吹田市国民健康保険条例の定めるところにより支給する任意給付であり、支給額については健康保険法施行令の規定を準用するものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時51分46秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00543	葬祭費支払事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11089	02	02	05
01	01	01	01	01
所属長	森田 明子	葬祭費支払事業（葬祭費）		
根拠法令等	国民健康保険法	担当者（内線）市川（2292）		
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	平成30年度	
改正内容	葬祭費の額を3万円から5万円に改正（平成30年4月1日以降の死亡に適用）			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	被保険者が死亡した際に葬祭費用を軽減する		
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる		
事業概要	被保険者が死亡した際、葬祭実施者に対し葬祭費を支給する		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	15,000	12,030	15,000	11,580	22,500
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
総事業費(A+B)	16,547	13,477	16,558	13,138	24,044
特定財源(C)	15,000	12,030	15,000	11,580	22,500
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	22,500
その他	15,000	12,030	15,000	11,580	0
市負担(D)	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,547	1,447	1,558	1,558	1,544
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	16,547	13,477	16,558	13,138	24,044

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00543

2頁
平成30年 6月 4日
11時51分46秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.17	0.18	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者が安心して必要な給付を受けることができる	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 葬祭費の負担軽減に寄与できているため)</p> <p>【今後の方向性】 大阪府国民健康保険運営方針にも定められた給付費であり継続とする。給付額は吹田市国民健康保険条例で規定している。 国民健康保険の広域化に伴う府内統一基準にあわせ、平成30年4月から支給額を3万円から5万円に改正している。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	葬祭費支払事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00543				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00543
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>葬祭費は国民健康保険法第58条の規定により、吹田市国民健康保険条例の定めるところにより支給する任意給付であるが、大阪府内のすべての市町村が3万円から5万円の間の額で支給を行ってきた。</p> <p>平成30年度より国民健康保険の広域化に伴い府内統一基準として葬祭費支給額は5万円となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 4日
11時55分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00544	精神・結核医療給付事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11090	02	02	06	01	01	01	01	精神・結核医療給付事業（精神・結核医療給付金）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	市川（2292）				
根拠法令等	国民健康保険法、吹田市国民健康保険条例								
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	平成18年度						
改正内容	障害者自立支援法の規定により負担される額の改正に伴う給付の拡大								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	被保険者の負担を軽減することにより、適正な医療を確保する		
結果	被保険者が安心して必要な給付を受けることができる		
事業概要	国民健康保険加入者で精神・結核医療対象者の自己負担額を助成		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	医療費等の審査支払事務
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	46,303	45,704	47,586	46,313	46,376
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	774	724	779	779	772
総事業費(A+B)	47,077	46,428	48,365	47,092	47,148
特定財源(C)	46,303	45,704	47,586	46,313	46,376
国	0	0	0	0	0
府	11,345	10,743	11,659	10,656	46,376
その他	34,958	34,961	35,927	35,657	0
市負担(D)	774	724	779	779	772
地方債	0	0	0	0	0
その他	774	724	779	779	772
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	47,077	46,428	48,365	47,092	47,148

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00544

2頁
平成30年 6月 4日
11時55分47秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.59	0.64	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して必要な給付を受けることができる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:精神・結核医療に寄与しているため) 【今後の方向性】 大阪府国民健康保険運営方針にも定められた給付費であり継続とする。

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	精神・結核医療給付事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00544				

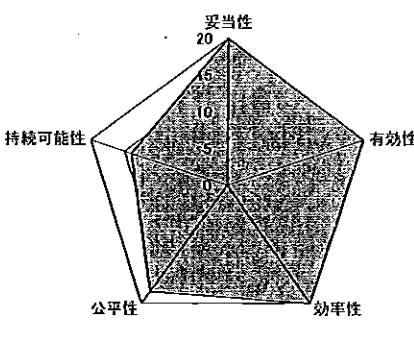
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00544
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	大阪府内市町村すべてにおいて実施している事業である。		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月21日
16時56分33秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00552	その他共同事業拠出金支払事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11098	02	07	01	02	01	01	01	その他共同事業拠出金支払事業（その他共同事業拠出金）
所属長	森田 明子				担当者（内線）三輪（2285）				
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	昭和59年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	大阪府国民健康保険団体連合会		
目標	退職者医療共同事業拠出金の支払		
結果	年金受給者一覧表の受領による退職者医療制度の正確な適用		
事業概要	<p>退職被保険者等に係る保険給付に要した費用は、退職被保険者等の保険料と被用者保険等保険者からの療養給付費交付金により賄われるべきものであるが、一般被保険者のまま保険給付が行われた場合、一般被保険者の保険料と療養給付費負担金等で賄われ、国の療養給付費負担金が過大な負担となり、国民健康保険制度の運営に多大な影響を与える。退職被保険者等の適用の適正化を推進するため、国保連合会は年金受給権者一覧表を市町村へ送付し、その費用として、市町村から退職者医療共同事業拠出金を徴収する。国民健康保険団体連合会に対し、退職者医療共同事業拠出金の支払を行う。</p>		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		大阪府国民健康保険団体連合会	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10	5	10	4	10
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	88	78	88	82	88
特定財源(C)	10	5	10	4	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10	5	10	4	0
市負担(D)	78	73	78	78	88
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	73	78	78	88
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	88	78	88	82	88

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00552

2頁
平成30年 5月21日
16時56分33秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	退職者医療共同事業拠出金の支払	目標	遅滞なく拠出金を支払う
成果内容	年金受給者一覧表の受領による退職者医療制度の正確な適用	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 退職者振替に必要な資料の提供を受けるための経費であるため、継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	その他共同事業拠出金支払事業(国民健康保険特別会)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00552				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00552
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>退職者医療制度の運用のための退職者振替に必要な資料の提供を受けるための経費であるが、平成27年度以降は新規認定がなくなるため、事業費が増加することはない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
09時30分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00554	特定健康診査（国保健康診査）事業（国民健康保険特別会計）			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	05	生活を支える社会保障の充実			
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）			
予算事業	11101	02	08	01 01 02 01 01	特定健康診査（国保健康診査）事業（特定健康診査等事業費）
所属長	森田 明子		担当者（内線）三輪（2285）		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法				
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者		
目標	被保険者の健康保持		
結果	被保険者の健康保持及び医療費の適正化		
事業概要	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者に対して、市内の協力医療機関において自己負担なしで特定健診を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	一般社団法人吹田市医師会
		委託先②	(株)NKサポート
		委託先③	
		主な委託内容	健診事業、特定健診受診票の封入封緘業務
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	320,500	276,920	320,742	262,831	307,599
人件費職員数(人)	0.50	0.50	1.00	1.00	1.00
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	3,867	3,618	7,787	7,787	7,717
総事業費(A+B)	324,367	280,538	328,529	270,618	315,316
特定財源(C)	320,500	276,920	320,742	262,831	307,599
国	50,721	53,615	49,785	47,427	0
府	50,721	85,295	49,785	47,427	307,594
その他	219,058	138,010	221,172	167,977	5
市負担(D)	3,867	3,618	7,787	7,787	7,717
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,867	3,618	7,787	7,787	7,717
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(G+D)	324,367	280,538	328,529	270,618	315,316

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00554

2頁
平成30年 6月 6日
09時30分54秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定健診受診券送付者数	人	目標値	54,684.00	52,013.00	54,000.00
			実績値	54,684.00	52,013.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	特定健診受診券の送付人数(平成30年度は予算編成時の推計値)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.13	5.20	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定健診受診者数	人	目標値	33,880.00	34,800.00	25,380.00
			実績値	25,060.00	23,801.00	
			達成度(%)	74.00	68.40	
目標値の積算方法	対象者数(予算編成時の推計値)に特定健康診査等実施計画で定めた各年度の目標実施率をかけて算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.19	11.37	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定健診受診率	%	目標値	58.00	60.00	47.00
			実績値	46.00	0.00	
			達成度(%)	79.30	0.00	
目標値の積算方法	特定健康診査等実施計画で定めた各年度の目標実施率(平成29年度は集計中)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6,098.65	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者の健康保持及び医療費の適正化	達成状況 受診率も府内他市と比較して高く、被保険者の健康保持につながっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:健診の単価は診療報酬に基づいて積算されているため)</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移、特定健診受診率の実績値を踏まえると、府内上位の受診率を維持しているものの目標を下回っているため改善が必要である。 今後、事業成果の目標を達成するためには、未受診者勧奨の実施を再検討する。</p> <p>【今後の方向性】 受診率の向上は、医療費の増加抑制に寄与するものであるため、過去の健診データ等に基づく対象者選定を含めた効果的な未受診者勧奨について検討を行い、費用発生を含めた専門業者への委託をするべく拡充が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	特定健康診査(国保健康診査)事業(国民健康保険特別)	事業区分	その他
事務事業番号	00554				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00554
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、被保険者に対して実施することを義務付けられているため、市が行わなければならないものである。</p> <p>平成28年度は府内上位の受診率であるものの、特定健康診査等実施計画の目標値には達していない。比較的受診率の高い層が後期高齢者に移行することにより、今後受診率は下降傾向になることが見込まれる。受診率は財源確保の面からも重要な指標なので、受診率の向上が今後の課題となる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
11時37分43秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00556	医療費通知事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11103	02	08	02	01	01	01	01	医療費通知事業（保健事業費）
所属長	森田 明子							担当者（内線）	市川（2292）
根拠法令等	厚生労働省通知								
事業開始年度	昭和58年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	被保険者が健康と国民健康保険制度に対する意識を高める		
結果	医療費の適正化による国民健康保険の健全な運営		
事業概要	国民健康保険加入世帯に対し、医療機関で診察を受けた医療費を通知し、受診された内容が正しく請求されているかを被保険者自身で確認できるようにする。二か月分ずつの医療費を年間で6回通知する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,565	12,047	15,525	13,502	14,909
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	774	724	779	779	772
総事業費(A+B)	13,339	12,771	16,304	14,281	15,681
特定財源(C)	12,565	12,047	15,525	13,502	14,909
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	14,909
その他	12,565	12,047	15,525	13,502	0
市負担(D)	774	724	779	779	772
地方債	0	0	0	0	0
その他	774	724	779	779	772
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	13,339	12,771	16,304	14,281	15,681

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00556

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,420.00	71,100.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.40	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.16	0.19	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
医療費の適正化による国民健康保険の健全な運営	達成状況 年間を通じた医療費を通知することで、一定の成果をあげている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:単価契約のハガキを使用し、医療費の確認を行うのに適切な回数(年6回)を実施しているため)</p> <p>【今後の方向性】 大阪府国民健康保険運営方針にも定められた事業である。 通知作成について、業務の効率化を図るため大阪府国民健康保険団体連合会への委託も検討しているため、拡充とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建國保健室	事業名	医療費通知事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00556				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(6点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	92	ー ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民建國保健室	事務事業番号	00556
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険の被保険者へ医療機関からのレセプト請求に基づく受診内容を通知することにより、被保険者の医療費に対する意識の向上や医療費の適正化につながるものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
16時44分57秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00557	健診助成事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11104	02	08	02	01	01	02	01	健診助成事業（保健事業費）
所属長	森田 明子				担当者（内線）三輪（2285）				
根拠法令等	国民健康保険法、吹田市各種がん検診等一部負担金助成金交付要綱								
事業開始年度	昭和20年度	直近の改正	平成30年度						
改正内容	助成対象の変更								
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	受診対象者のうち65歳未満の国民健康保険の被保険者		
目標	被保険者の疾患予防や早期発見・早期治療を促進する		
結果	被保険者の健康の保持促進に努めることにより、医療費の適正化を図る		
事業概要	対象となる被保険者が、保健センター又は市内のがん検診等実施医療機関で、助成対象事業を受診するときに必要な一部負担金を助成する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		国保の受診対象者のうち65歳未満の者	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,698	6,088	6,739	5,537	6,092
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	1,547	1,447	1,558	1,558	772
総事業費(A+B)	8,245	7,535	8,297	7,095	6,864
特定財源(C)	6,698	6,088	6,739	5,537	6,092
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	6,092
その他	6,698	6,088	6,739	5,537	0
市負担(D)	1,547	1,447	1,558	1,558	772
地方債	0	0	0	0	0
その他	1,547	1,447	1,558	1,558	772
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(G+D)	8,245	7,535	8,297	7,095	6,864

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00557

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各種がん検診助成証明書発行枚数	枚	目標値	25,585.00	23,375.00	22,088.00
			実績値	6,280.00	5,651.00	
			達成度(%)	24.50	24.20	
目標値の積算方法	40歳以上65歳未満の被保険者数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1.20	1.26	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定健診との同時受診率	%	目標値	80.00	80.00	80.00
			実績値	67.20	66.50	
			達成度(%)	84.00	83.10	
目標値の積算方法	府評価指標の最高評価	単位当たりコスト	総事業費(千円)	112.13	106.69	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者の健康保持及び増進	達成状況 疾患の予防(骨粗しょう症検診による骨折の予防など)や早期発見につながっている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:受診率について一定の効果が得られているため)</p> <p>【指標数値の評価】 がん検診の特定健診との同時受診は、目標値を下回っているため最高の評価は得られていないものの次点での評価は得られており、おおむね妥当だが改善の余地はある。</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度以降も特別交付金においてがん検診の受診率及び特定健診との同時受診が評価される見込みであり、今後も財源確保の観点からも継続するべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	健診助成事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00557				

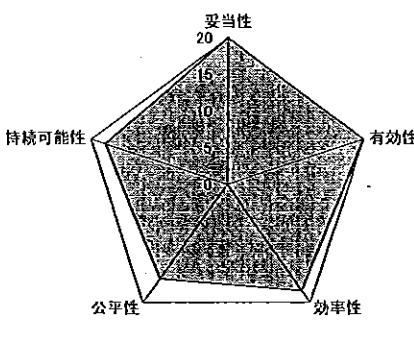
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00557
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険の保健事業として、市の実施する各種がん検診等に対して一部負担金額の全額を助成している。 被保険者の減少及び高齢化(65歳以上は市の制度で無料)のため事業費は減少傾向にある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
08時22分28秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00559	後発医薬品使用差額通知事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11106	02	08	02
01	01	04	01	後発医薬品使用差額通知事業（保健事業費）
所属長	森田 明子 担当者（内線）市川（2292）			
根拠法令等	厚生労働省通知			
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	なし	
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	後発医薬品使用を促進することにより、被保険者が国民健康保険財政に寄与する意識を深める		
結果	後発医薬品使用の増進による国民健康保険の健全な運営		
事業概要	国民健康保険加入世帯に対し、後発医薬品使用の差額通知を行い調剤差額を被保険者自身で確認できるようにする。年に4回通知する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	大阪府国民健康保険団体連合会
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	差額通知の作成
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

(千円)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,546	2,249	2,549	2,260	842
人件費職員数(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	387	362	390	390	386
総事業費(A+B)	2,933	2,611	2,939	2,650	1,228
特定財源(C)	2,546	2,249	2,549	2,260	842
国	512	493	520	478	0
府	0	0	0	0	842
その他	2,034	1,756	2,029	1,782	0
市負担(D)	387	362	390	390	386
地方債	0	0	0	0	0
その他	387	362	390	390	386
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	2,933	2,611	2,939	2,650	1,228

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00559

2頁
平成30年 6月 5日
08時22分28秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	後発医薬品差額通知発送者数	人	目標値	10,000.00	10,000.00	10,000.00
			実績値	8,593.00	8,905.00	
			達成度(%)	85.90	89.10	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.30	0.30	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	後発医薬品使用率(毎年度2月)	%	目標値	60.00	70.00	70.00
			実績値	57.89	60.96	
			達成度(%)	96.50	87.10	
目標値の積算方法	「経済財政運営と改革の基本方針2017」に示された目標値を参考	単位当たりコスト	総事業費(千円)	45.10	43.47	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		円	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 平成25年9月を基準とした医療費の削減効果が平成29年度累計で約3億3000万円あり、医療費の適正化に寄与しており、事業費は適切である。</p> <p>【今後の方向性】 後発医薬品使用差額通知にあたっては送付対象についていくつかの条件(薬価差額や投薬状況)を設定した上で被通知者ができるだけ固定化しないよう送付している。 大阪府国民健康保険運営方針にも定められた事業であり継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民建保健康室	事業名	後発医薬品使用差額通知事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00559				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00559
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療の高度化に伴い医療給付費の増加傾向が続いているため、医療費適正化の方策を講じる必要があり、平成25年度より医療費適正化に向けた取り組みとして本事業が立ち上げられた。今後も医療費の適正化に努める必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月24日
18時38分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00560	一時借入金利子償還事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11107	02	09	01	01 01 01 01	一時借入金利子償還事業（利子）
所属長	森田 明子			担当者（内線）三輪（2285）		
根拠法令等	国民健康保険法					
事業開始年度	不明	直近の改正		なし		
改正内容	なし					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険事業運営に係る一時借入金		
目標	一時借入金利子の償還		
結果	財政の安定運営		
事業概要	国保運営にあたり歳入が不足する場合、一時借入れを行う必要があり、本事業では、一時借入金利子の支払を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,400	106	70	6	70
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	1,478	179	148	84	148
特定財源(C)	1,400	106	70	6	70
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,400	106	70	6	70
市負担(D)	78	73	78	78	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	73	78	78	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,478	179	148	84	148

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00560

2頁
平成30年 5月24日
18時38分11秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	一時借入金利息の償還	目標	一時借入金利息を支払う
成果内容	財政の安定運営	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:一時借入借入金の利率が適切であるため)</p> <p>【今後の方向性】 累積赤字が解消するまで継続すべきである。累積赤字が解消したら当事業は終了となるため計画どおり赤字を解消する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一時借入金利子償還事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00560				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00560
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>累積赤字を抱えており、資金運用のため一時借入金の利子を確保する必要がある。 累積赤字が解消されれば当事業は必要がなくなる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時06分25秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00561	一般被保険者保険料還付事業（国民健康保険特別会計）				
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり				
節	05	生活を支える社会保障の充実				
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）				
予算事業	11108	02	10	01	01 01 01 01	一般被保険者保険料還付事業（一般被保険者保険料還付金）
所属長	森田 明子		担当者（内線）大重（2296）			
根拠法令等	地方自治法、地方税法、吹田市国民健康保険条例					
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他																	
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）																	
目標	国民健康保険料の過誤納金を納付義務者に還付する。																	
結果	国民健康保険事業の正確性を確保する。																	
事業概要	国民健康保険を納付後に資格喪失などにより保険料の過誤納金が発生したものについて納付義務者に還付する。																	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託又は一部委託 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>委託先①</td><td></td></tr> <tr><td>委託先②</td><td></td></tr> <tr><td>委託先③</td><td></td></tr> <tr><td>主な委託内容</td><td></td></tr> </table> <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>交付先①</td><td></td></tr> <tr><td>交付先②</td><td></td></tr> <tr><td>交付先③</td><td></td></tr> </table> <input type="checkbox"/> その他 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>内容</td><td></td></tr> </table>		委託先①		委託先②		委託先③		主な委託内容		交付先①		交付先②		交付先③		内容	
委託先①																		
委託先②																		
委託先③																		
主な委託内容																		
交付先①																		
交付先②																		
交付先③																		
内容																		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,000	26,952	30,000	36,627	40,000
人件費職員数(人)	0.29	0.29	0.29	0.29	0.23
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	2,243	2,099	2,259	2,259	1,775
総事業費(A+B)	32,243	29,051	32,259	38,886	41,775
特定財源(C)	30,000	26,952	30,000	36,627	40,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	30,000	26,952	30,000	36,627	40,000
市負担(D)	2,243	2,099	2,259	2,259	1,775
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,243	2,099	2,259	2,259	1,775
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	32,243	29,051	32,259	38,886	41,775

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00561

2頁
平成30年 6月 7日
16時06分25秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対して、速やかに還付する。	目標	速やかな還付
成果内容	請求後1か月以内に還付(口座振込)を完了する。	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:発生した保険料の過誤納金について、請求のとおり納付義務者に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者保険料還付事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	00561				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00561
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、条例に基づくもので過誤納となった保険料を納付義務者に還付するもので国民健康保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時08分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00562	退職被保険者等保険料還付事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11109	02	10	01	02	01	01	01	退職被保険者等保険料還付事業（退職被保険者等保険料還付金）
所属長	森田 明子				担当者（内線）大重（2296）				
根拠法令等	地方税法、地方自治法、吹田市国民健康保険条例								
事業開始年度	昭和35年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	国民健康保険料の過誤納金を納付義務者に還付する。		
結果	国民健康保険事業の正確性を確保する。		
事業概要	国民健康保険料を納付後に資格喪失などにより保険料の過誤納金が発生したものについて納付義務者に還付する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,300	646	1,300	869	1,300
人件費職員数(人)	0.28	0.28	0.28	0.28	0.23
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	2,166	2,026	2,181	2,181	1,775
総事業費(A+B)	3,466	2,672	3,481	3,050	3,075
特定財源(C)	1,300	646	1,300	869	1,300
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,300	646	1,300	869	1,300
市負担(D)	2,166	2,026	2,181	2,181	1,775
地方債	0	0	0	0	0
その他	2,166	2,026	2,181	2,181	1,775
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	3,466	2,672	3,481	3,050	3,075

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00562

2頁
平成30年 6月 7日
16時08分26秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対し、速やかに還付する。	目標	速やかな還付
成果内容	請求後1か月以内に還付(口座振込)を完了する。	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:発生した保険料の過誤納金について、請求のとおり納付義務者に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	退職被保険者等保険料還付事業(国民健康保険特別会)	事業区分	その他
事務事業番号	00562				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、取組率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
	b. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00562
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--	--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、条例に基づくもので過誤納となった保険料を納付義務者に還付するもので国民健康保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--	--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月24日
18時48分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00563	繰上充用事業（国民健康保険特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11110	02	10	02 01 01 01 01
所属長	森田 明子	繰上充用事業（繰上充用金）		
根拠法令等	地方自治法施行令			
事業開始年度	不明	直近の改正 なし		
改正内容	なし			
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	国民健康保険特別会計		
目標	前年度までの累積赤字相当額を繰上充用し、収支の均衡を図る。		
結果	収支の均衡		
事業概要	<p>地方自治法施行令において、会計年度経過後にいたって歳入が歳出に不足するときは、翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てることができ、そのために必要な額を翌年度の歳入歳出予算に編入しなければならないとされている。</p> <p>前年度までの累積赤字相当額を繰上充用することによって、収支の均衡を図る。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	532,000	2,733,245	532,000	1,377,767	532,000
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	532,078	2,733,318	532,078	1,377,845	532,078
特定財源(C)	216,000	2,417,245	216,000	1,061,767	216,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	66,244
その他	216,000	2,417,245	216,000	1,061,767	149,756
市負担(D)	316,078	316,073	316,078	316,078	316,078
地方債	0	0	0	0	0
その他	316,078	316,073	316,078	316,078	316,078
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	532,078	2,733,318	532,078	1,377,845	532,078

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00563

2頁
平成30年 5月24日
18時48分23秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	前年度の赤字相当額を繰上充用し収支の均衡を図る	目標	前年度の赤字相当額の繰上充用
成果内容	収支の均衡	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:赤字解消計画に基づいているため)</p> <p>【今後の方向性】 累積赤字が解消するまで継続すべきである。累積赤字が解消したら当事業は終了となるため計画どおり赤字を解消する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	繰上充用事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00563				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00563
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>自治体会計の赤字に対して地方自治法施行令第166条の2の規定に基づき翌年度の歳入を繰り上げてこれに充てるものである。 累積赤字が解消すれば当事業は必要がなくなる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
10時59分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00564	予備費管理事業（国民健康保険特別会計）			
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり			
節	05	生活を支える社会保障の充実			
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）			
予算事業	11111	02	11	01 01 01 01 01	予備費管理事業（予備費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	三輪（2285）
根拠法令等	地方自治法、国民健康保険法施行規則				
事業開始年度	昭和24年度	直近の改正	なし		
改正内容					
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	国民健康保険特別会計			
目標	予備費の執行			
結果	不測の支出に対応			
事業概要	不測の支出が生じた際に予備費を執行する。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
交付先②				
交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	15,000	0	15,000	0	15,000
人件費職員数(人)	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	0	78	0	78
総事業費(A+B)	15,078	0	15,078	0	15,078
特定財源(C)	15,000	0	15,000	0	15,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	15,000	0	15,000	0	15,000
市負担(D)	78	0	78	0	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	78	0	78	0	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	15,078	0	15,078	0	15,078

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00564

2頁
平成30年 5月25日
10時59分49秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	予備費の執行	目標	不測の支出が生じた際に予備費を執行する。
成果内容	不測の支出に対応	達成状況	達成している(なお、近年において支出の実績はない。)

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は削減の余地がある。(理由:執行がないため)</p> <p>【今後の方向性】 国保広域化により国の予算編成方針の中でも最小限の規模の計上とあり、廃止することはできないので継続とするが、近隣市の動向を踏まえ事業費の削減を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	予備費管理事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00564				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	77	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00564
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>法令上設定する必要がある費目のため事業を廃止することはできないが、国保広域化により国の予算編成方針の中でも最小限の規模の計上とあり、近隣市の動向を踏まえ事業費の削減を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
10時50分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00565	電算処理負担事業（後期高齢者医療特別会計）		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）		
予算事業	11224	13	01	01
所属長	森田 明子	01	03	01
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律			
事業開始年度	平成20年度	直近の改正 なし		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	後期高齢者医療に係る電算処理負担金		
目標	後期高齢者医療に係る電算処理負担金の支払		
結果	後期高齢者医療特別会計において負担すべき額の納入		
事業概要	後期高齢者医療に係る基幹系システムの利用に対する電算処理負担金		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,000	2,000	3,827	3,827	988
人件費職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
人件費単価	9,831	7,808	8,607	8,607	8,235
人件費総額(B)	2,950	2,343	2,583	2,583	2,471
総事業費(A+B)	4,950	4,343	6,410	6,410	3,459
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,950	4,343	6,410	6,410	3,459
地方債	0	0	0	0	0
その他	4,950	4,343	6,410	6,410	3,459
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	4,950	4,343	6,410	6,410	3,459

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00565

2頁
平成30年 5月28日
10時50分01秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	後期高齢者医療被保険者の加入情報管理等のための基幹系システムの利用経費について、情報政策室に負担金を支払うものである。	目標	遅滞なく負担金を支払う
成果内容	後期高齢者医療特別会計において負担すべき額の納入	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 特別会計において応分の負担はやむを得ないため) 事業費の削減に向けた取組として、情報政策室と協議する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 電算処理のための負担金であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	電算処理負担事業(後期高齢者医療特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00565				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	④利用者が対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		c. 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	0	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		内部管理	点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		内部管理	点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的な比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00565
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>情報政策室から、各特別会計に求められる電算負担金を支払っている。 大型汎用機に対する負担金がなくなり、事業費は縮小した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
13時52分11秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00566	後期高齢者医療システム事業（後期高齢者医療特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11227	13	01	02	01	03	01	01	後期高齢者医療システム事業（徴收費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）大重（2296）					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、吹田市後期高齢者医療に関する条例								
事業開始年度	平成19年度	直近の改正			なし				
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	後期高齢者医療の被保険者		
目標	後期高齢者医療の被保険者情報の管理並びに保険料の収納及び過誤納金の還付等の業務を正確に処理することにより、制度の円滑な運営を図る。		
結果	後期高齢者医療制度の安定した運営		
事業概要	後期高齢者医療制度の被保険者情報の管理及び保険料の収納等の事務処理を行う後期高齢者医療事務処理システムを安定稼働させるために維持・管理を行う。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社日立製作所関西支社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	システムのカスタマイズプログラムの修正等
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	18,781	26,578	15,185	14,622	17,845
人件費職員数(人)	1.00	1.30	1.10	1.10	1.10
人件費単価	9,831	7,808	8,607	8,607	8,235
人件費総額(B)	9,831	10,151	9,468	9,468	9,059
総事業費(A+B)	28,612	36,729	24,653	24,090	26,904
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	28,612	36,729	24,653	24,090	26,904
地方債	0	0	0	0	0
その他	28,612	36,729	24,653	24,090	26,904
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	28,612	36,729	24,653	24,090	26,904

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00566

2頁
平成30年 5月25日
13時52分11秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	後期高齢者医療事務処理システムのソフトウェアの更新、及びカスタマイズプログラムの修正	目標	後期高齢者医療事務処理システムの安定稼働
成果内容	後期高齢者医療事務処理システムが安定的に稼働することにより後期高齢者医療保険制度の円滑な運営に寄与している	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 制度改正に対応できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費は妥当であるため、継続すべきである。また、法改正等によりシステム改修が不可欠であれば、拡充及び事業費の増額が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	後期高齢者医療システム事業(後期高齢者医療特別会)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00566				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点			
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。			
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点		
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。			
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点		
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。			
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。			
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。			
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点		
		②事業の目的と受益者が一致していますか。			
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。			
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。			
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
		①単位当たりコストは適正ですか。			
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。			
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点		
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。			
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。			
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。			
		内部管理	点		
		②サービスの水準は適正ですか。			
		内部管理	点		
		③適正な受益者負担を求めていますか。			
		内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
		内部管理	点		
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。			
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点		
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。			
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。			
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市町村業務である後期高齢者医療保険料の納付管理・催告業務、各種申請・届出の受付等の業務のためのシステムを保守管理するために必要不可欠な事業であり、今後についても、法改正等に対応し、継続する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月28日
11時18分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00567	後期高齢者医療広域連合納付金支払事業（後期高齢者医療特会）						
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり						
節	05	生活を支える社会保障の充実						
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)						
予算事業	11228	13	02	01	01	01	01	後期高齢者医療広域連合納付金支払事業（後期高齢者医療広域連合）
所属長	森田 明子			担当者（内線）	三輪（2285）			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律							
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし					
改正内容								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）							

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	大阪府後期高齢者医療広域連合		
目標	大阪府後期高齢者広域連合への納付金の支払		
結果	後期高齢者医療広域連合の円滑な運営		
事業概要	大阪府後期高齢者医療広域連合へ下記の納付金の支払を行う。 (1) 市が徴収した後期高齢者医療保険料 (2) 広域連合が行う低所得者等の保険料軽減に対する市負担分（保険基盤安定負担金）		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		大阪府後期高齢者医療広域連合	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,777,826	4,539,200	4,755,470	4,704,537	4,884,887
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	9,831	7,808	8,607	8,607	8,235
人件費総額(B)	4,916	3,904	4,304	4,304	4,118
総事業費(A+B)	4,782,742	4,543,104	4,759,774	4,708,841	4,889,005
特定財源(C)	4,070,489	3,869,696	4,043,273	3,993,226	4,129,261
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	4,070,489	3,869,696	4,043,273	3,993,226	4,129,261
市負担(D)	712,253	673,408	716,501	715,615	759,744
地方債	0	0	0	0	0
その他	712,253	673,408	716,501	715,615	759,744
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	4,782,742	4,543,104	4,759,774	4,708,841	4,889,005

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00567

2頁
平成30年 5月28日
11時18分41秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	後期高齢者広域連合への納付金の支払	目標	遅滞なく納付金を支払う
成果内容	後期高齢者医療広域連合の円滑な運営	達成状況	達成している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 収納した保険料を納付しているため)</p> <p>【今後の方向性】 法で定められた業務であり、継続すべきである。保険料収納率の向上に努める必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	後期高齢者医療広域連合納付金支払事業(後期高齢者)	事業区分	その他
事務事業番号	00567				

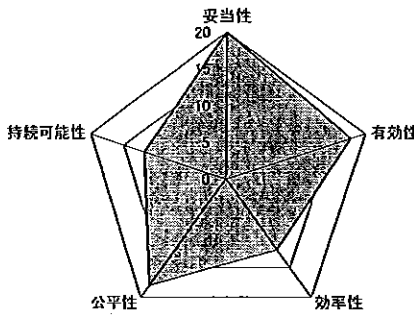
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	12	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	12	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00567
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>高齢者の医療の確保に関する法律で、後期高齢者医療制度の保険料徴収は市町村業務となっており、市町村は徴収した保険料を後期高齢者医療特別会計に歳入し、一般会計から繰り入れる保険基盤安定負担金と併せて、後期高齢者医療広域連合に納付金として支払うことが定められている。</p> <p>後期高齢者医療制度の被保険者が増加しているため、納付金も増加し続けている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月25日
13時53分34秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00569	国保システム事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11367	02	01	01	01	05	01	01	国保システム事業（一般管理費）
所属長	森田 明子			担当者（内線）大重（2296）					
根拠法令等	国民健康保険法								
事業開始年度	平成25年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	● 内部管理 ○ 建設事業 ○ その他		
対象	国民健康保険の被保険者及び納付義務者		
目標	国民健康保険業務を円滑に進めるため、システム再構築に取り組む。		
結果	パッケージシステムを導入することにより、度重なる制度改正に耐えうるシステムを再構築し、市民サービスの向上に努める。		
事業概要	国民健康保険に係る資格及び国民健康保険料賦課業務		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	株式会社日立製作所 関西支社
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	国保システム開発
		交付先①	
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	66,220	65,883	44,314	40,651	39,884
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	774	724	779	779	772
総事業費(A+B)	66,994	66,607	45,093	41,430	40,656
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	66,994	66,607	45,093	41,430	40,656
地方債	0	0	0	0	0
その他	66,994	66,607	45,093	41,430	40,656
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	66,994	66,607	45,093	41,430	40,656

所属	国民健康保険室
事務事業番号	00569

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	国民健康保険被保険者数	人	目標値	80,750.00	76,620.00	71,550.00
			実績値	78,398.00	73,649.00	
			達成度(%)	97.10	96.10	
目標値の積算方法	実績に基づく予算数値	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.85	0.56	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 国民健康保険業務を円滑に進めるために、パッケージシステムを導入することにより、度重なる制度改正に耐えうるシステムを再構築し、ひいては市民サービスの向上に努める。	達成状況 平成28年1月より新システム稼働。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 制度改正に対応できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費は妥当であるため、継続すべきである。また、法改正等によりシステム改修が不可欠であれば、拡充及び事業費の増額が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	国保システム事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	内部管理
事務事業番号	00569				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	0	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		内部管理	点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		内部管理	点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		内部管理	点	
(5) 持続可能性 (20点)	16	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		内部管理	点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点	
評価点合計 (100点満点)	90	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点	
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	00569
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>国民健康保険料の納付管理・催告業務、各種申請・届出の受付等の業務のためのシステムを保守管理するために必要不可欠な事業である。</p> <p>平成29年度については、高額滞納案件に対応する債権管理課において同システムの一部が使用できるように改修を行い、マイナンバー制度に対応するためのデータレイアウトの改版対応を行った。</p> <p>今後についても、法改正等に対応し、継続する必要があるものである。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時35分51秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01111	一般被保険者還付加算金事業（国民健康保険特別会計）								
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり								
節	05	生活を支える社会保障の充実								
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）								
予算事業	11519	02	10	01	03	01	01	01	一般被保険者還付加算金事業（一般被保険者還付加算金）	
所属長	森田 明子								担当者（内線）	大重（2296）
根拠法令等	地方自治法、地方税法									
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし							
改正内容	なし									
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input checked="" type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）									

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他								
対象	国民健康保険の被保険者（一般被保険者）								
目標	国民健康保険料の過誤納金を還付する際、還付金に還付加算金を加算し納付義務者に還付する。								
結果	国民健康保険事業の正確性を確保する。								
事業概要	国民健康保険料を納付後に資格喪失や所得変更などにより保険料減額更正となり、過誤納金が発生したものについて、納付義務者に還付金に還付加算金を加算し還付する。								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施								
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①							
		委託先②							
		委託先③							
	主な委託内容								
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①								
	交付先②								
	交付先③								
<input type="checkbox"/> その他	内容								

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	600	566	3,000	574	3,000
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	678	639	3,078	652	3,078
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	678	639	3,078	652	3,078
地方債	0	0	0	0	0
その他	678	566	3,078	652	3,078
一般財源	0	73	0	0	0
財源計(C+D)	678	639	3,078	652	3,078

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01111

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対し、還付加算金を加算し速やかに還付する。	目標	速やかな還付
成果内容	請求後1か月以内に還付(口座振込)を完了する。	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:加算した還付加算金について、請求のとおり納付義務者等に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	一般被保険者還付加算金事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01111				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01111
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--	--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、地方税法に基づき過課納となった保険料を納付義務者に還付する際に法定の還付加算金を付加するものであり、国民健康保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--	--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時37分18秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01112	退職被保険者等還付加算金事業（国民健康保険特別会計）							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11520	02	10	01	04	01	01	01	退職被保険者等還付加算金事業（退職被保険者等還付加算金）
所属長	森田 明子				担当者（内線）	大重（2296）			
根拠法令等	地方自治法、地方税法								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者（退職被保険者）		
目標	国民健康保険料の過誤納金を還付する際、還付金に還付加算金を加算し納付義務者に還付する。		
結果	国民健康保険事業の正確性を確保する。		
事業概要	国民健康保険料を納付後に資格喪失や所得変更などにより保険料減額更正となり、過誤納金が発生したものについて、納付義務者に還付金に還付加算金を加算し還付する。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	60	14	100	15	100
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	78	73	78	78	78
総事業費(A+B)	138	87	178	93	178
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	138	87	178	93	178
地方債	0	0	0	0	0
その他	138	87	178	93	178
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	138	87	178	93	178

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01112

2頁
平成30年 6月 7日
16時37分18秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対し、還付加算金を加算し還付する。	目標	速やかな還付
成果内容	請求後1か月以内に還付(口座振込)を完了する。	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:加算した還付加算金について、請求のとおり納付義務者等に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	退職被保険者等還付加算金事業(国民健康保険特別会)	事業区分	その他
事務事業番号	01112				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
-	-	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
-	-	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01112
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、地方税法に基づき過誤納となった保険料を納付義務者に還付する際に法定の還付加算金を付加するものであり、国民健康保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 7日
16時40分43秒 作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01439	出産費資金貸付事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)							
予算事業	11507	02	08	02	01	01	03	01	出産費資金貸付事業(保健事業費)
所属長	森田 明子				担当者(内線)市川(2292)				
根拠法令等	吹田市国民健康保険出産資金の貸付に関する規則								
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成15年度						
改正内容	貸付額の改定(多胎妊娠)								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部(上乘せ、横出し等あり) ○ なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	国民健康保険の被保険者		
目標	出産に要する費用を貸し付けることにより、適正受診の確保を図る		
結果	被保険者が安心して出産することができる		
事業概要	出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる世帯主に対し、支給をうけるまでの間、出産に要する費用の資金を貸し付ける		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,200	0	600	0	150
人件費職員数(人)	0.05	0.00	0.05	0.00	0.01
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	387	0	390	0	78
総事業費(A+B)	1,587	0	990	0	228
特定財源(C)	1,200	0	600	0	150
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,200	0	600	0	150
市負担(D)	387	0	390	0	78
地方債	0	0	0	0	0
その他	387	0	390	0	78
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,587	0	990	0	228

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01439

2頁
平成30年 6月 7日
16時40分43秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	貸付件数	件	目標値	8.00	4.00	1.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	当初予算見込件数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 被保険者が安心して出産できる	達成状況 達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費は適切である。(理由: 国事業に基づくものであり必要な事業である。)</p> <p>【今後の方向性】 平成25年度以降は新規貸付の実績がなく予算額は縮小したが、誰もが安心して出産できるよう、引き続き予算の確保を行うべく継続とする。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	出産資金貸付事業(国民健康保険特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01439				

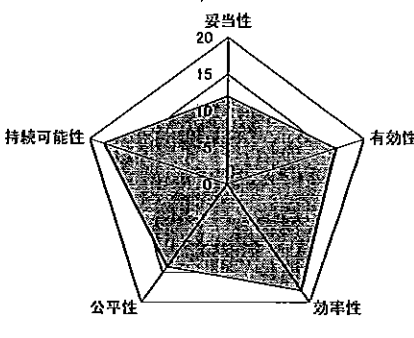
1. 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01439
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成21年(2009年)10月より、出産育児一時金の直接払い制度が導入され、出産費用の一時立替えが原則的に必要でなくなったことに伴い、利用件数が減少している。このため予算を減額し事業縮小を行ってきたものである。平成25年度以降新規の貸付はないものの、国が一部医療機関に直接払い制度の適用を猶予している状況が続いており、制度の廃止には至っていない。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月30日
18時01分16秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01440	特定保健指導（国保保健指導）事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度（国民健康保険・国民年金）							
予算事業	11508	02	08	01	01	03	01	01	特定保健指導（国保保健指導）事業（特定健康診査等事業費）
所属長	森田 明子		担当者（内線）三輪（2285）						
根拠法令等	国民健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし						
改正内容									
市単独事業区分	○ 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ● なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者で特定健診の結果保健指導が必要とされたもの		
目標	被保険者の健康保持		
結果	被保険者の健康保持および医療費の適正化		
事業概要	40歳から74歳までの国保加入者に対して実施した特定健康診査で、メタボリックシンドロームのリスクが高いと判定された受診者に対し、検査値改善のための保健指導を行う		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	837	882	1,290	609	17,567
人件費職員数(人)	2.50	2.50	3.00	3.00	1.00
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	19,335	18,088	23,361	23,361	7,717
総事業費(A+B)	20,172	18,970	24,651	23,970	25,284
特定財源(C)	837	882	1,290	609	17,567
国	279	478	215	447	0
府	279	201	215	81	17,567
その他	279	203	860	81	0
市負担(D)	19,335	18,088	23,361	23,361	7,717
地方債	0	0	0	0	0
その他	19,335	18,088	23,361	23,361	7,717
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	20,172	18,970	24,651	23,970	25,284

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01440

2頁
平成30年 5月30日
18時01分16秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定保健指導受講者数	人	目標値	1,549.00	1,735.00	1,802.00
			実績値	549.00	486.00	
			達成度(%)	35.40	28.00	
目標値の積算方法	対象者数(H30は予算編成時の推計値)に特定健康審査等実施計画で定めた各年度の目標実施率をかけて算出	単位当たりコスト	総事業費(千円)	34.55	49.32	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定保健指導実施率(29年度は集計中)	%	目標値	50.00	60.00	53.00
			実績値	17.90	0.00	
			達成度(%)	35.80	0.00	
目標値の積算方法	特定健康診査等実施計画で定めた各年度の目標実施率	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,059.78	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
被保険者の健康保持および医療費の適正化	達成状況 受講者数はほぼ横ばいであるが、被保険者の健康保持につながっている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:被保険者の健康保持につながっているため) 事業費の財源確保に向けた取組として、更なる受講率の向上が必要である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は妥当とは言えず改善が必要である。 今後、事業成果の目標を達成するため動機付け支援対象者については、健診結果説明と同時に初回面接を行うよう一般社団法人吹田市医師会へ、積極的支援対象者については、夜間休日にも対応可能な専門業者へ委託する。</p> <p>【今後の方向性】 当事業は、法律上実施しなければならないため継続すべきである。 平成30年度より当事業を委託することで受講率の向上は十分に見込まれる。</p>

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	特定保健指導(国保保健指導)事業(国民健康保険特別)	事業区分	その他
事務事業番号	01440				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01440
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>対象者を抽出し、保健師等による指導を行うことにより生活習慣病を予防し、被保険者の健康を保持するとともに医療費の削減効果を目指す。 本市の状況としては特定健診の受診率が高いものの、健診後の保健指導の実施率は低い状況が続いている。 平成30年度より、特定保健指導業務を委託し、動機付け支援について健診結果説明時に初回面接を行うことで実施率の向上を見込んでいる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
18時31分05秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01441	被保険者保険料還付事業					
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり					
節	05	生活を支える社会保障の充実					
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)					
予算事業	11517	13	03	01	01 01 01 01 01 01	被保険者保険料還付事業(被保険者保険料還付金)	
所属長	森田 明子					担当者(内線)	大重(2296)
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、吹田市後期高齢者医療に関する条例						
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし				
改正内容	なし						
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)						

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	後期高齢者医療保険の被保険者		
目標	後期高齢者医療保険料の過誤納金を納付義務者に還付する。		
結果	制度の性格性を確保する。		
事業概要	後期高齢者医療保険料を納付後に資格喪失などにより保険料の過誤納金が発生したものに ついて納付義務者に還付する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,000	4,016	10,000	4,277	10,000
人件費職員数(人)	0.05	0.09	0.09	0.09	0.09
人件費単価	9,831	7,808	8,607	8,607	8,235
人件費総額(B)	492	703	775	775	742
総事業費(A+B)	10,492	4,719	10,775	5,052	10,742
特定財源(C)	10,000	4,016	10,000	4,277	10,000
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	10,000	4,016	10,000	4,277	10,000
市負担(D)	492	703	775	775	742
地方債	0	0	0	0	0
その他	492	703	775	775	742
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	10,492	4,719	10,775	5,052	10,742

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01441

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対し、速やかに還付する	目標	速やかな還付
成果内容	請求後、1か月以内に還付(口座振込)を完了する	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:発生した保険料の過誤納金について、請求のとおり納付義務者に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>		

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	被保険者保険料還付事業(後期高齢者医療特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01441				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01441
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、条例に基づくものであり、過誤納となった保険料を納付義務者に還付するもので後期高齢者医療保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 5月31日
18時32分42秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01442	被保険者還付加算金事業							
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり							
節	05	生活を支える社会保障の充実							
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)							
予算事業	11518	13	03	01	02	01	01	01	被保険者還付加算金事業(被保険者還付加算金)
所属長	森田 明子				担当者(内線)大重(2296)				
根拠法令等	地方自治法、地方税法								
事業開始年度	平成26年度	直近の改正		なし					
改正内容	なし								
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	後期高齢者医療保険の被保険者		
目標	後期高齢者医療保険料の過誤納金を還付する際、還付金に還付加算金を加算し納付義務者に還付する。		
結果	制度の正確性を確保する。		
事業概要	後期高齢者医療保険料を納付後に資格喪失や所得変更による保険料減額更正により、保険料の過誤納金が発生したものについて、還付金に還付加算金を加算し、納付義務者等に還付する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,550	25	1,550	18	1,550
人件費職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
人件費単価	9,831	7,808	8,607	8,607	8,235
人件費総額(B)	99	79	87	87	83
総事業費(A+B)	1,649	104	1,637	105	1,633
特定財源(C)	1,550	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	1,550	0	0	0	0
市負担(D)	99	104	1,637	105	1,633
地方債	0	0	0	0	0
その他	99	104	1,637	105	1,633
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	1,649	104	1,637	105	1,633

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01442

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	過誤納金が発生している被保険者に対し、還付加算金を加算し、速やかに還付する	目標	速やかな還付
成果内容	請求後、1か月以内に還付(口座振込)を完了する	達成状況	請求後、約2週間で還付(口座振込)を完了している

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由: 加算した還付加算金について、請求のとおり納付義務者等に還付できているため)</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正である。また、法律で定められた事業であり保険料収納業務を適正に行うために、継続すべきである。</p>		

事務事業分析シート

所属名	国民健康保険室	事業名	被保険者還付加算金事業(後期高齢者医療特別会計)	事業区分	その他
事務事業番号	01442				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	82	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01442
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、地方税法に基づき過誤納となった保険料を納付義務者に還付する際に法定の還付加算金を付加するものであり、後期高齢者医療保険制度の正確性を維持するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 6日
09時41分49秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01742	特定健診フォローアップ事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)		
予算事業	11665	02	08	01
		01	04	01
		01	01	01
所屬長	森田 明子	担当者(内線)三輪(2285)		
根拠法令等	大阪府国民健康保険非肥満高血圧高血糖者・血糖高値者受診勧奨推進事業実施要領			
事業開始年度	平成27年	直近の改正	なし	
改正内容				
市単独事業区分	<input type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input checked="" type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	特定健診の結果、特定保健指導の対象にならないものの、血圧・血糖高値である者			
目標	被保険者の健康保持			
結果	被保険者の健康保持及び医療費の適正化			
事業概要	特定保健指導の対象にならない血圧・血糖高値者への受診勧奨・受診確認			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容		
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	10,994	5,339	10,863	6,467	7,399
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
総事業費(A+B)	14,861	8,957	14,757	10,361	11,258
特定財源(C)	10,994	5,339	10,863	6,467	7,399
国	0	5,291	0	2,772	0
府	9,500	0	0	3,684	7,381
その他	1,494	48	10,863	11	18
市負担(D)	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
地方債	0	0	0	0	0
その他	3,867	3,618	3,894	3,894	3,859
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	14,861	8,957	14,757	10,361	11,258

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01742

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定保健指導対象外で、血圧160/100mmHg以上、HbA1c 6.5%以上の未治療者への受診勧奨	人	目標値	2,000.00	2,000.00	2,000.00
			実績値	1,428.00	1,775.00	
			達成度(%)	71.40	88.80	
目標値の積算方法	上記指標内容の対象者数見込	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.27	5.84	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	特定保健指導対象外でHbA1c 7.0%以上の内服治療者	人	目標値	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			実績値	683.00	969.00	
			達成度(%)	68.30	96.90	
目標値の積算方法	上記指標内容の対象者数見込	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.11	10.69	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	活動指標①のうち電話、面接、訪問及び文書でアプローチした結果、受診確認ができた人数	人	目標値	1,428.00	1,775.00	0.00
			実績値	1,428.00	0.00	
			達成度(%)	100.00	0.00	
目標値の積算方法	活動指標①の実績値(29年度は集計中)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.27	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	活動指標②のうち電話、面接、訪問及び文書でアプローチした人数	人	目標値	683.00	969.00	0.00
			実績値	682.00	0.00	
			達成度(%)	99.90	0.00	
目標値の積算方法	活動指標②の実績値(29年度は集計中)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	13.13	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	被保険者の健康保持及び医療費の適正化	達成状況	被保険者の健康保持につながっている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:市負担がほとんどないため)</p> <p>【指標数値の評価】 アプローチで多くの方に受診勧奨、受診確認ができた。</p> <p>【今後の方向性】 受療中にもかかわらずコントロール不良者が存在しており、生活習慣改善ができるよう主治医との連携や保健指導の評価が必要であり、継続すべきである。 従来より実施していた本事業の一部を平成30年度より糖尿病性腎症重症化予防プログラムとして実施し、より効果的な保健指導を行う。</p>		

事務事業分析シート

2018/6/616:48

所属名	国民健康保険室	事業名	特定健診フォローアップ事業	事業区分	その他
事務事業番号	01742				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01742
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>特定保健指導対象外の血圧・血糖高値者に対して、保健師等による医療機関への受診勧奨を行い、重症化を予防することで医療費の削減効果を目指す。 平成28年度より開始した事業で、今後も引き続き実施する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月 5日
17時44分41秒作成

評価年度	平成29年度	所属	0008020000	国民健康保険室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01743	データヘルス計画策定事業		
章	03	健康で安心して暮らせるまちづくり		
節	05	生活を支える社会保障の充実		
細節	20	社会保障制度(国民健康保険・国民年金)		
予算事業	11900	02 08 02 01 02 01 01	データヘルス計画策定事業(保健事業費)	
所属長	森田 明子	担当者(内線) 三輪(2285)		
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、日本再興戦略			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部(上乘せ、横出し等あり) <input type="radio"/> なし(国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)			

<事業分析>

事業区分	<input checked="" type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他			
対象	国民健康保険の被保険者			
目標	被保険者の健康保持			
結果	被保険者の健康保持			
事業概要	平成30年度からの保健事業を実施するために第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の策定を事業者に委託する。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	(株) データホライゾン	
		委託先②	大阪府国民健康保険団体連合会	
		委託先③		
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	計画の策定、レセプトデータ抽出	
		交付先①		
交付先②				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	11,880	8,722	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00
人件費単価	7,734	7,235	7,787	7,787	7,717
人件費総額(B)	0	0	779	779	0
総事業費(A+B)	0	0	12,659	9,501	0
特定財源(C)	0	0	11,880	8,722	0
国	0	0	0	8,722	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	11,880	0	0
市負担(D)	0	0	779	779	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	779	779	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	12,659	9,501	0

所属	国民健康保険室
事務事業番号	01743

2頁
平成30年 6月 5日
17時44分41秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画の策定のためのデータ提供及び分析	目標	計画の策定
成果内容	データヘルス計画及び特定健康診査等実施計画の策定	達成状況	達成できている

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。(理由:委託により、市職員では困難な詳細な分析結果を得ることができたため)</p> <p>【今後の方向性】 平成30年度以降は策定した計画に基づいて保健事業を実施していく。 保健事業を実施するための事業費は、それぞれの事業であるため次期計画の策定又は計画の見直しを行うまで当事業に事業費は発生しないが、事業そのものが終了するものではないので継続とする。</p>

事務事業分析シート

2018/6/616:48

所属名	国民健康保険室	事業名	データヘルス計画策定事業	事業区分	内部管理
事務事業番号	01743				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	0	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		内部管理	点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		内部管理	点
③適正な受益者負担を求めていますか。			
内部管理	点		
④公平性を確保するための取組みをしていますか。			
内部管理	点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	95	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	国民健康保険室	事務事業番号	01743
-----	---------	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	主要な政策課題としての取組	部として重点的な取組	その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の策定をし、平成30年度からの6年間は当計画に基づき保健事業を実施していく。 3年後の平成32年度中に中間見直しを行う予定としているが、計画期間満了である6年後の平成35年度まで費用が発生することはないと思われる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--